

2019年2月8日

SUBARU 新型「レガシィ」セダンをシカゴオートショーで世界初公開

～2.4L直噴ターボエンジンとSUBARU GLOBAL PLATFORMで進化したフラッグシップセダン～

- デビュー30周年を迎え、フルモデルチェンジで大幅進化したフラッグシップセダン
- 2.4L水平対向4気筒直噴ターボエンジンとSUBARU GLOBAL PLATFORMを採用し、動的質感を大きく向上
- 初採用の11.6インチディスプレイを備えた、上質さと革新性を併せ持つ室内空間
- 総合安全思想に基づく、SUBARUならではの優れた安全性能
- 動きを感じさせるプロポーションと厚みを活かしたたくましいエクステリアデザイン

SUBARUは米国シカゴにて開催中の2019シカゴオートショーにおいて、新型「レガシィ」(米国仕様)を世界初公開しました。



1989年に初代が誕生した「レガシィ」は、今回のフルモデルチェンジで7代目を迎えるSUBARUのフラッグシップセダンです。クルマを通じて新たなライフスタイルや人生の楽しみ方を提案することで、乗る人の生活を更に豊かにする。30年の歴史を積み重ねる中で、歴代「レガシィ」はそうして乗る人の信頼を獲得し、「生活に寄り添うクルマ」としての価値を提供し続けてきました。7代目となる新型「レガシィ」でもこの価値は色濃く受け継がれるとともに、「自由な行動を約束してくれる安心感のあるセダン」というコンセプトのもと、更なる進化を遂げています。

エンジンは低回転域から力強いトルクを発生する2.4L水平対向4気筒直噴ターボエンジンと、直噴化により効率を高めた2.5L水平対向4気筒エンジンの2種類を用意。車体剛性を最適化するSUBARU GLOBAL PLATFORMと組み合わせることで、高い動的質感を更に進化させました。また、運転支援システム「アイサイト」には、米国仕様として初めて車線中央維持制御・先行車追従操舵制御を追加。安全運転を支援するドライバーモニタリングシステム*1も組み合わせることで、更に安心感を高めています。

エクステリアは動きを感じさせるスリークなシルエットを描きつつ、厚みや立体感を持たせたボディパネルで、躍動感とたくましさと同時に表現しています。インテリアには、11.6インチ大型ディスプレイを備えたインフォテインメントシステムを新規採用。フラッグシップならではの高い質感に、革新的な機能性を加えることで、快適で楽しい移動空間を提供します。

この他にも、多くの進化を遂げた新型「レガシィ」は、これからの時代に見合った「自由な行動を約束してくれる安心感のあるセダン」として、より楽しく、より安全なカーライフを乗る人全てにお届けします。

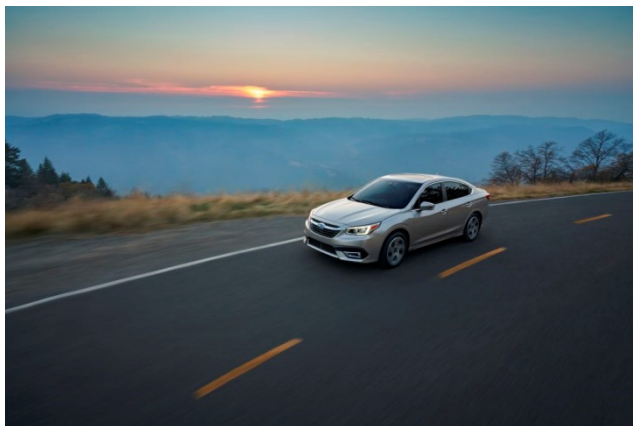
新型「レガシィ」(米国仕様)は、米国生産拠点 Subaru of Indiana Automotive, Inc.にて生産し、2019年秋頃から販売を開始する予定です。

*1: 米国仕様システム名称「DriverFocus」

【新型「レガシィ」(米国仕様)の主な特徴】

■ 高い動的質感に裏付けられた、楽しさと安心感を両立する走り

操縦安定性や乗り心地、静粛性を向上させ、街乗りからロングドライブまで幅広いシーンで、天候を問わず安心して快適に愉しめる、「レガシィ」ならではのストレスフリーな走りを実現しています。



<高い動的質感を支えるシャシー・ボディ>

- ・従来型に対して各部の剛性を飛躍的に高めた SUBARU GLOBAL PLATFORM の採用により、ステアリング操作に対する正確なレスポンス、快適な乗り心地、静粛性の高い室内空間を実現
- ・ボディ骨格を強固に組み立ててからアウターパネルを溶接するフルインナーフレーム構造をSUBARUとして初めて採用したことで高剛性化と軽量化を両立し、動的質感を大きく向上
- ・アルミ製ロアアーム等の採用で軽量化した足回りの動きの良さと、それを支える新設計ダンパーで、大きく進化したハンドリングと乗り心地

<SUBARUらしさを支える独自の機構と技術>

- ・あらゆる路面状況で安定した走りを実現するSUBARU独自の全輪駆動システム「シンメトリカル AWD」を全車に採用
- ・低回転から力強いトルクを発生する新型 2.4L水平対向 4 気筒直噴ターボエンジンを採用、アクセルの踏み始めからスムーズな加速を実現
- ・リニアトロニック^{*2} は変速比幅の更なるワイドレンジ化とともに、油圧システムの刷新により駆動力の伝達効率を高め、高い燃費性能と走行性能を両立

■ 上質で革新的なパーソナル室内空間

質感の高いデザインと進化したパッケージングによるゆとりあるスペースに、革新的な機能を持つ先進装備を組み合わせた、乗る人全てが愉しめる室内空間を表現しています。



<便利で快適な革新的装備>

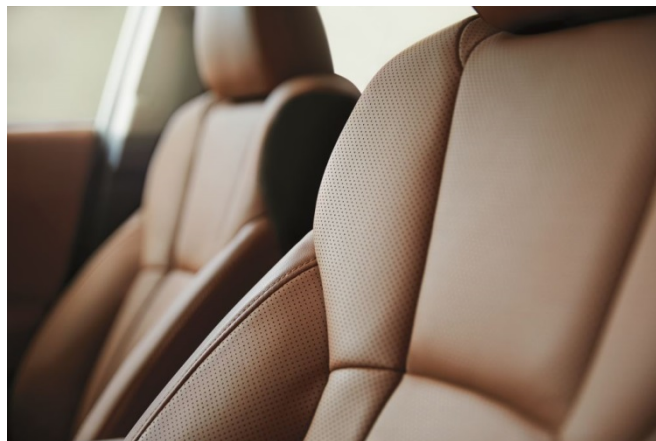
- ・11.6 インチ Full HD 縦型ディスプレイを備えた最新型インフォテインメントシステムを採用、大画面に集約した様々な情報をスマートフォン同様の感覚で快適に操作できる HMI (Human Machine Interface) を実装
- ・Apple CarPlay^{*3}、Android Auto^{TM *4}に加え、SUBARU STARLINK を拡充し、新たに SmartDeviceLink^{TM *5} に準拠したアプリに対応。スマートフォンの OS を問わず、多様なアプリの体験を提供

- ・緊急通報など従来からの安全機能に加え、Wi-Fi hotspot やリモートエンジンスタートなどの機能で利便性を充実させたテレマティクスサービスを提供
- ・ドライバーの居眠りや脇見運転検知に加え、シートポジションやドアミラー角度、空調設定を登録したドライバーごとに自動調整するドライバーモニタリングシステムを採用



<上質で居心地の良さを感じさせるインテリアデザイン>

- ・新たに追加した最上級グレード「Touring」のシートに、タンカラーのナッパレザーをSUBARUとして初めて採用
- ・拡大したフロントガラスと、インストゥルメントパネル中心部からドアパネルまで連続する長い線のモチーフにより、伸びやかで開放的な雰囲気表現
- ・3面から構成されるインストゥルメントパネルの一部にシートと同じカラーを採用することで、開放感を演出
- ・厚みを持たせたセンターコンソールやアームレストで、包み込むようなホールド感を表現
- ・直接触れる部分をはじめ、各部に上質さを感じさせるこだわりの素材をセレクト



<ゆったりとくつろげる室内パッケージングと快適装備>

- ・フロントガラスを前方に、フロントドアガラスを外側に広げることで実現した、クラストップレベルの視界
- ・従来型比で伸長した車体全長を後席と荷室に割り当てることで、後席スペースの快適性と、荷室の使い勝手の両方を向上
- ・エンジン始動直後から車内を素早く暖める PTC ヒーターを採用(2.4L 直噴ターボエンジン搭載車のみ)
- ・最上級グレード「Touring」に、蒸し暑い日でも快適なシートベンチレーションを装備
- ・上級グレード(Limited/Touring)に、運転席クッション座面長の調整機能を採用

■ 豊かなライフスタイルを実現する機能性

アウトドアやロングドライブなど、セダンの枠にとらわれずあらゆるシーンでアクティブなライフスタイルを自由に愉しむための、機能性を充実させました。

<行動範囲を広げる高い機能性>

- ・ルーフキャリアの装着を容易にするルーフキャリアブラケットを採用
- ・スーツケース4個が積載可能な、余裕のある荷室スペース

■ SUBARUならではの優れた安全性能

安心で楽しいドライブを場所や走行環境を問わずお届けするSUBARUの総合安全の考え方のもと、安全装備を充実させました。

<乗り込んですぐに分かる優れた視界性能 ~ 0次安全 ~>

- ・見晴らしの良い高いアイポイント、最適化されたピラー形状により死角を最小化し、優れた視界性能を確保
- ・運転中の視線移動を最小限に抑える、こだわりのインターフェース配置
- ・シート形状やクッション素材を最適化することで、ドライビング時の疲労を軽減

<いざという時にも頼れる運動性能 ~ 走行安全 ~>

- ・意図した通りにクルマをコントロールできる、アクティブトルクベクタリングを採用

<先進安全装備の充実 ~ 予防安全 ~>

- ・SUBARU独自の運転支援システム「アイサイト」を全車に標準装備、更に米国仕様としては初めて車線中央維持制御・先行車追従操舵制御(アイサイト・ツーリングアシスト)を採用
- ・フロントガラスにLEDの光を投影、アイサイト作動状態を直感的に知らせるアイサイトアシストモニターを採用
- ・「ドライバーモニタリングシステム」によりドライバーの脇見、居眠りを推定して注意を促すことで安全運転をサポート
- ・LEDヘッドライトを全車に標準装備し、夜間運転時の視認性を向上
- ・後退時自動ブレーキにより、車両後退時の衝突回避または衝突による被害を軽減
- ・後側方警戒支援システムにより、自車後側方から接近する車両を検知し、音と表示で警告
- ・フロントグリル下部に装備したカメラの画像により、車両前方の死角を減らすフロントビューモニターを装備

<クラストップレベルの乗員保護性能 ~ 衝突安全 ~>

- ・SUBARU GLOBAL PLATFORM 採用によりボディ構造を最適化、クラストップレベルの乗員保護性能を実現
- ・高張力鋼板の適切な配置により、前面、側面、後面全ての衝突安全性能を向上

■ たくましさを備えた存在感のあるエクステリアデザイン

SUBARU共通のデザインフィロソフィー“DYNAMIC x SOLID”を「レガシィ」のキャラクターに適應させ、今にも走り出しそうな動きを感じさせるプロポーションと、厚みを活かしたたくましさを併せ持つ、存在感のあるセダンを表現しました。

<力強さとスポーティさが共存するフロントデザイン>

- ・スポーティさを表現する、フレームレスヘキサゴングリル
- ・ワイドな口アグリルと逆Cシェイプに囲んだフォグランプベゼルで、安定感と低重心感を強調

<安定感とスピード感を意識させるサイドシルエット>

- ・スムーズなシルエットと勢いのあるウィンドウグラフィックとの組み合わせによりスピード感を表現しつつ、ドアパネルの厚み感やフェンダーの張り出し、ホイールアーチ上のアクセントにより、力強さを強調したサイドビュー
- ・ウィンドウフレームと連続性を持たせた、動きを感じさせる新しいデザインのアウターミラー

<よりワイドで安定感のあるリアビュー>

- ・フロントバンパーと共通したワイドモチーフをリアにも取り入れ、安定感と低重心感を強調
- ・トランク内側部分まで発光する、強調されたCシェイプモチーフ



- *2: リニアトロニック: フル電子制御自動無段変速 (CVT)
- *3: Apple CarPlay は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標
- *4: Android Auto™ は、米国およびその他の国で登録された Google LLC.の商標
- *5: SmartDeviceLink™ は、米国およびその他の国で登録された SmartDeviceLink Consortium, Inc. の商標

【新型「レガシィ」(米国仕様) 主要諸元表】

ボディサイズ 〈全長×全幅×全高〉	4840 × 1840 × 1500 mm (190.6 × 72.4 × 59.1 in.)	
ホイールベース	2750 mm (108.3 in.)	
最低地上高	150 mm (5.9in.)	
エンジン	FA24 型 2.4L 水平対向 4 気筒 DOHC 直噴ターボ	FB25 型 2.5 L 水平対向 4 気筒 DOHC 直噴
排気量	2387cc	2498cc
ボア・ストローク	94 × 86mm	94 × 90mm
出力	260hp / 5600rpm	182hp / 5800rpm
トルク	277lb-ft / 2000-4800rpm	176lb-ft / 4400rpm
燃料タンク容量	70L (18.5gal)	
燃料種類	87AKI	
トランスミッション	リニアトロニック	
駆動方式	シンメトリカル AWD	
タイヤサイズ	225/55 R17、225/50 R18	
乗車定員	5 名	